

医動物・種類同定検査結果（令和6年10月～令和7年3月）

医動物担当では、人の健康を害する、または不快感を与える昆虫、ダニ、寄生虫等の試験・調査・研究を行っています。

その中の一つとして、各区福祉保健センター、各市場検査所、事業者などの依頼を受け、昆虫類を中心とした種類同定検査を行っています。昆虫類の種類を同定することによって、発生源、発生時期、人に対する害などが分かると、効果的な対策を立てることにつながります。

令和6年10月から令和7年3月の6か月間の種類同定検査報告件数は、昆虫類1件(チャタテムシ目)、その他の節足動物5件(クモ目5件)でした。

検査結果の詳細は以下のとおりです。

相談内容・発生状況等 〈相談月〉	写真 (状態、体色、大きさ)	同定結果	生態・その他
受水槽から虫がみつかった。 〈12月〉	 <p>成虫、白色、約1.5mm</p>	チャタテムシ目の一種 (チャタテムシ目)	雑食性の昆虫で、穀類や貯蔵加工品、わら製品、ダンボールなど広範囲のものを加害する。多湿を好み、屋内で生活する種類は木や竹、畳などに生えるカビを食べる。単為生殖する種類がいる。
畑に置かれたカゴからクモと卵のうを発見した。 〈10月〉	 <p>背面</p>  <p>腹面</p> <p>雌成虫、黒色、背面に赤い斑紋、腹面に砂時計型の赤い斑紋あり、約10mm</p>  <p>卵のう、乳白色、約8mm</p>	セアカゴケグモ (クモ目)	基本的に攻撃性はないが毒を持っており、外来生物法に基づく特定外来生物に指定されている。 体色は黒く、背面中央部に赤い縦長の斑紋、腹面にゴケグモ類特有の赤い斑紋(砂時計型)がみられる。※1

相談内容・発生状況等 〈相談月〉	写真 (状態、体色、大きさ)	同定結果	生態・その他
<p>施設敷地内でクモを発見した。 〈10月〉</p> <p>畑に置かれたカゴからクモと卵のうを発見した。 〈10月〉</p>	 <p style="text-align: right;">背面</p>  <p style="text-align: right;">腹面</p> <p>雌成虫、黒色、背面に斑紋、腹面に砂時計型の赤い斑紋あり、約9mm</p>	<p>ハイイロゴケグモ (クモ目)</p>	<p>セアカゴケグモと同様に、基本的に攻撃性はないが毒を持っており、外来生物法に基づく特定外来生物に指定されている。体は褐色、灰色または黒色で個体差がある。腹部背面の正中線上に斑紋がある。腹面にゴケグモ類特有の赤い斑紋(砂時計型)がみられる。全世界の熱帯、亜熱帯、温帯の一部に分布する。※1</p>
<p>施設敷地内でクモを発見した。 〈10月〉</p>	 <p>雌成虫、灰黒色、約9mm</p>	<p>イエオニグモ (クモ目)</p>	<p>駅、人家、物置、軒下、人家付近の樹木間など夜間照明のある場所に円網を張る。</p>
<p>施設敷地内でクモを発見した。 〈10月〉</p>	 <p>幼虫、褐色、約5mm</p>	<p>ヒメグモ科の一種 (クモ目)</p>	<p>形態的にも生態的にもさまざまなタイプを含む。空間に造網する種が多い。</p>

※1 横浜市内で確認されたゴケグモ属については、以下のウェブページに掲載されています。

【参考】ゴケグモに注意

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/sumai-kurashi/seikatsu/kokyo/gaichu/seakagokegumo.html>

(横浜市医療局ウェブページ)

【 微生物検査研究課 医動物担当 】